

奈良県教育委員会が県立高等学校の望ましい入学者選抜の在り方について検討を行うにあたり、検討に資する意見を学識経験者等から聴取するため、令和3年10月15日に奈良県立高等学校入学者選抜検討委員会（委員長：小松郁夫京都大学特任教授）を立ち上げ、検討や意見交換を行ってきました。この度、これまでの意見交換等を整理した「中間まとめ」を公表し、生徒やその保護者、学校関係者はじめ、**広くご意見を求め、引き続き行う意見交換等の参考とすること**としました。本委員会の最終的なとりまとめは、令和4年度末までを予定しています。

## 第1 本県における現行の入学者選抜にかかる現状と課題

### 1 各種選抜の実施状況と課題

- 特色選抜において、倍率の低下が続いている。  
(背景) ・各学校の魅力が中学生や保護者に十分届いていない現状  
・「普通科は進学、専門学科は就職」という硬直的な見方 など
- 一般選抜で、毎年、不合格者数が相当数出ている。  
(背景) ・私立高等学校授業料実質無償化の影響 など
- (教育行政への期待) **県内の子どもを、県内の初等・中等教育で、県教育振興大綱の基本的な方向性の中で、豊かに育むこと。**

### 2 入学者選抜における特別な措置等

- ・帰国生徒等特例措置等の継続実施
- ・全国募集は、①指定運動部、②指定学科、③入寮の 카테고리を整理し、拡大実施
- ・検査等における合理的配慮は、法や条例の趣旨を踏まえ取組を充実

### 3 選抜に用いる資料の取扱い

- ・各学校のアドミッションポリシーを踏まえ、調査書の取扱いの弾力化等を検討

### 4 選抜の実施日程

- ・選抜の複数回実施による過密日程への対応

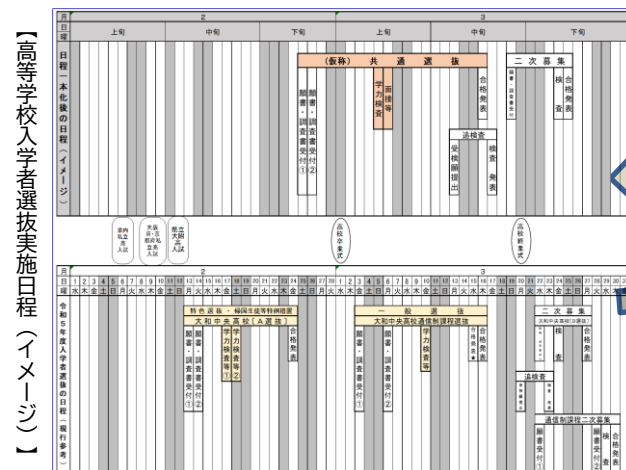
## 第2 今後の入学者選抜の改善の方向性や内容

### ○ 選抜方法・日程

- ・「**特色選抜、一般選抜**」を「**(仮称)共通選抜**」として日程を**原則一本化**  
(検討事項) ・各校で**複数の選抜方法**を設定できる制度  
・**第2希望校**（専門学科等）への**志願**  
・現在の一般選抜より**早期の日程設定** など

## 第2 (続き)

- 選抜に用いる資料
  - ・観点別学習状況の評価の活用検討
  - ・「**調査書成績の学年毎の比率**」など**継続検討**
- 特別な措置の実施
  - ・障害等のある受検生への合理的配慮の提供
  - ・帰国生徒・外国人生徒等及び社会人への負担軽減
  - ・高校設置地域の中学生対象の選抜制度の検討
  - ・県外生徒受入（全国募集）の方針再整理と拡大実施
- その他
  - ・中学生とその保護者への情報提供の充実
  - ・制度変更時の周知期間の確保
  - ・Web出願などICT活用による利便性向上・業務軽減
  - ・**高等学校教育全般について検討する県の審議会の設置**



＜意見募集の概要＞  
**【期間】**  
 令和4年11月7日～12月6日  
**【提出先】**  
 奈良県教育委員会事務局 高校の特色づくり推進課 高校教育指導係  
 (郵送)  
 〒630-8502 奈良市登大路町30番地  
 (Googleフォーム)  
<https://forms.gle/eziJFpvsCdyFcXix7>

【高等学校入学者選抜実施日程(イメージ)】